



ふれあい



探究のシンボル「マローンストーン」

校訓 「不かく尋ね たかく志す」

学園教育目標 「未来を創る」

3 学期始業式 生徒会役員委嘱式・引継式

1 月 7 日（水）、3 学期の始業式を行いました。坪浦敏美校長先生は式辞で「何事にもあきらめずに取り組みましょう」と話され、3 年生には「積み重ねた努力を信じて、受験（検）を乗り切ってください」とエールを送られました。また、1・2 年生には「1 年後、2 年後の自分の姿を見据え、3 学期は特に学習にしっかりと取り組みましょう」と話されました。始業式の後、生徒会役員委嘱式と引継式を行いました。新生徒会役員の山下千慧さん、楠ひなたさん、濱元煌生さん、比嘉埜乃さんの 4 名が、校長先生から委嘱状を受け取りました。引継式では、旧生徒会長の河本悠里さんが「広南中が大好きで、いつも誰かがそばにいたから生徒会長を務めることが出来ました」と、生徒全員に感謝の気持ちを述べました。新生徒会長の山下千慧さんは、まず旧役員 5 名に「私たちを今まで導いてくださり、ありがとうございました」と伝え、「先輩方が築いてくださった取組を受け継ぎ、礼節を重んじ、あたたかい人間関係を大切に広南中学校を創っていきます」と決意を述べました。



修学旅行説明会

1 月 9 日（金）6 校時、2 学年が修学旅行説明会を行いました。まず、修学旅行実行委員長の高松宏輝さんが「楽学両道（らくがくりょうどう）～Make Forever 2 A Memories～」というスローガンを発表し、「みんなで楽しく学びながら、2 A の一生忘れられない思い出をつかっていこう」と述べました。次に、副実行委員長の濱元煌生さんが、修学旅行の目標の 1 つである「本物にふれて、日本の伝統文化や防災を学ぼう！」について「京都班別自主研修」や「人と防災未来センター」を例にあげて説明しました。2 月 4 日（水）～6 日（金）の修学旅行、「京都班別自主研修」では、クラスで人気の高かった「嵐山の竹林」等、事前に自分たちでコースを決めて、班ごとに貸切タクシーで移動します。防災学習の一環として 4 日（水）に訪問する「人と防災未来センター」では、実際の被害の様子の見聞や疑似体験を通して、より深く防災について学習する予定です。



薬物乱用防止教室

1月23日(金)3・4校時、呉ライオンズクラブから12名の講師をお迎えし、2学年で「薬物乱用防止教室」を行いました。この教室の目的は、「薬物に対する正しい知識・技能を学ぶこと」、「自分の心の弱さに気づき、自分の意思を見つめ直すこと」、「周囲に流されずに判断することの大切さを自覚し、自分の選択に責任をもつこと」です。まず、違法薬物が体に与える悪影響や危険性について教えていただいた後、遊び仲間や部活動の先輩から「気分の良くなるタバコのようなものを一緒に吸おう」とか「体の調子が良くなる薬だよ」などと違法薬物を勧められたときの「断り方」を考えました。後半には、呉ライオンズクラブの方々が遊び仲間や先輩の役になり、生徒と「ロールプレイ」を行いました。「みんなが使ってるよ」「使っていないのは君だけだよ」などの甘い言葉や、誘い文句に、生徒は動揺を隠せないようでした。薬物の誘いについて普段から考え、「ダメ。ゼッタイ。」と断る行動の大切さを学びました。



学校運営協議会

1月27日(火)午前、広南学園第3回学校運営協議会を開催しました。学校運営協議会委員の皆様による授業参観を行った後、学校評価(最終評価)の説明及び質疑応答、来年度へ向けての協議を行いました。木村茂緒副会長が「これからに向けて、未来に向けての思いなど」と問われると、協議会委員からは「中学校のイルミネーションに地域が期待している」「体力の向上、部活動に地域や外部の協力があればいい」「来年度から(長浜地区は)子ども会がなくなり、祭りの案内等、地域・自治会と児童生徒の緩衝になる人がいない。自治会から小・中学校へ祭りの案内をしてもらえないか」や、長浜の石泉文庫がかつてまちづくりの出発点になっていた、という声から、「文化遺産(石泉文庫等)をもっと活用すること」や、「石泉文庫の虫干しを小学6年生が取り組んでいるが、片付けを小学5年生にお願いするのはどうか」との意見が出ました。



部活動体験



1月29日(金)6校時、広南小学校6年生を対象に部活動体験を行いました。バレーボール部・ソフトテニス部・文化活動部を体験し、6年生は中学校入学後の活動に期待をしている様子でした。

スクールカウンセラー・カウンセリングのお知らせ(2月~3月)
2/20(金) 2/27(金)

教頭、養護教諭、担任等に、
気軽に、お問い合わせください。